



下御霊つうしん 第二九号

平成三十年四月十五日
発行 下御霊神社

平素から当社の諸祭事とりわけ社殿等修復事業奉賛に御協力を給わりましたおかげで、今年の二月に南土塀・南門修理が無事終了致しました。厚く御礼申し上げますとともに、さらに修復事業を進めてまいります。

上皇様と下御霊社

平成三十一年四月三十日に今上陛下が御譲位され、五月一日に天皇陛下が御即位されることにより上皇様が御存在されるのは約二百年ぶりの御事となります。江戸時代、当社は上皇さまとの関係が深く、それは仙洞御所（上皇のお住まい）に地理的に近い事もあります。江戸前期の第百十二代霊元天皇（のち上皇）の御崇敬が大きなきっかけとなりました。

霊元天皇は有職に明るく和歌、書にも秀でた御方で、のち上皇となられて長い間院政を行い仙洞様と呼ばれました。霊元天皇は戦乱で衰退した宮中祭祀の復活に心血を注がれ、大嘗祭という即位して一度限りの重要な祭祀を御子様である東山天皇の御代に二百二十年ぶりに復活せられたのです。また同じく途絶えていた葵祭等の祭礼復興にも寄与され、御所の産土神である両御霊社を厚遇されました。特に当社神主とは親密な関係で、御霊祭で仙洞・大宮御所まで巡幸する事が恒例となり、また大火で全焼した際に仮皇居の内侍所（ないしどころ）旧殿を神殿として賜わるなどの事例は上皇の思召しが働いていると思われれます。

晩年修学院行幸の途中、当社に御車を止められて朝廷復古の祈願文を奉納されました。その内容は朝廷の現状を嘆く上皇の激しい思いが露骨に書かれたもので、歴史的価値が高く国の重要文化財に指定され、現在は京都国立博物館に寄託しております。畏れ多くも霊元上皇は崩御（お亡くなりになる）した後は必ず下御霊社に併祭すべしと常に希望され、崩御の翌日神主出雲路直元が御所に召し出されて御遺勅を賜わり、のち本殿の相殿に天中柱皇神（あめのなかはしらのすめがみ）としてお祀りする事となりました。

還幸祭出立・宮入についてのお知らせ

午前十時に鳳輦列と神輿列一斉に神社を出ます。本来の姿に近い神幸列での出立となります。午前九時四十五分より鳥居前にて神事、御来賓のご挨拶など式典を執り行いますので是非ご参拝下さい。また十七時半〜十八時には神輿が宮入りを前に寺町通で本担ぎして盛り上がりがあります。是非とも皆さんご覧いただき拍手して応援してあげて下さい。

今後の予定

（内容・時間等変更あり）

5月1日	5/1～還幸祭 夕方～閉門まで300年前宮中御下賜の大宮神輿などが奉安された拜殿をライトアップしております！ 神幸祭 遷座…本殿の御祭神の分御霊を鳳輦・神輿に遷します
11日（予定）	威儀組（お稚児）御位貫いの祭典 巡幸中の御祭神をお守りする武官の位を与えられます
19日（土）	午後7時～8時 寺町通（丸太町⇔二条） 子供みこし、十二灯 巡行
20日（日）	午前10時～午後5時 鳳輦列巡幸 午前10時～午後6時 神輿列巡幸
6月	同時に還幸祭写真展も開催します
24日（午後～）～30日（～午後5時）	茅輪神事 ちのわ くぐることで心身を清めて下さい
30日（午後5時～）	大祓（夏越祓） なごしのはらえ 半年間のけがれを祓います



春の御千度参り（3月～6月）
例年お参りされる各御町内 約50ヶ町

ホームページも是非ご覧ください

裏面に巡行図などを掲載しておりますのでご覧ください



還幸祭写真

優秀作品については来年度のポスターの一部に使用します。詳細は後日ホームページでお知らせいたします。是非ご応募下さい。またお祭りの昔（大正・昭和）の写真も募集しております。社務所までお申し出下さい。

